

授業科目 言語発達学

【担当教員名】  吉岡 豊		対象学年	1	対象学科	言語
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	◎			
【概要・一般目標：G10】 言語聴覚士として必要な言語発達に関する知識を習得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 言語発達の全体像を理解する。 2. 前言語期の発達を説明する。 3. 言語発達を言語のレベル別に述べる。 4. 言語の使用について分析する。 5. 文字認識の発達について理解する。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	言語発達とその関連領域			1	
2	乳幼児のコミュニケーション（前言語期）			2	
3	音韻能力の発達			3	
4	語彙能力の発達			3	
5	統語能力の発達 1			3	
6	統語能力の発達 2			3	
7	語用論的発達			4	
8	文字認識の発達について			5	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		ことばの発達入門 入門コース・こ とばの発達と障害 1	秦野悦子 編	大修館	2001・2,200円＋税
参考書		新・子どもたちの言語獲得 言語聴覚士のための基礎知識	小林春美、佐々木正人 編 音声 今泉 敏 編集	大修館 医学書院	2008・2,300円＋税 2009・3,800円＋税
その他の資料					
【評価方法】 2/3以上の出席を定期試験受験資格とする。 成績評価は主に定期試験結果をもって行う。			【履修上の留意点】		